

たんぽぽ



宇都宮市立錦小学校
第3学年 学年だより
R6 冬休み・1月号

どうぞよいお年をお迎えください

いよいよ待ちに待った冬休みが始まります。年末年始には、各ご家庭でさまざまな計画が立てられていることと思います。ご家族とのふれあいを大切に、楽しい冬休みをお過ごしください。

せっかくの機会ですので、子どもたちに大掃除や料理作りなど、家族のためになるお手伝いをさせてあげてください。子どもたちも家族の一員として働くことで、充実感を味わうことと思います。また、あいさつの仕方を学んだり、日本の伝統文化に触れたりする機会を持つことで、生きた学習になると思います。



1 生活について

○学校から配付した『「冬休み」の過ごし方』のプリントと一緒に読んでいただき、改めてご家庭におけるきまりについて確認してみてください。

○冬休みは、13日間あります。「早寝・早起き・朝ごはん」を心掛け、限られた時間を大切に過ごしてください。

2 学習について

○3年生の学習時間の目安は、1日40分です。

◆だれもが行う課題

□新年のめあてカード …新しい年になんげしたいこと、できるようになりたいことなどを学習面と生活面の2つ、カードに書きます。自分に合うめあてが考えられるといいですね。

□なわとびカード …長期休みを利用し、いろいろな技に挑戦してみましょう。
おうちの人に回数を数えてもらって色をぬってもよいです。

□元気アップ 生活習かんチェック

*クラスルーム「にしきポスト」にある「Google フォーム」で行います。

□スマイルネクストドリル (冬休み か題①/冬休み か題②/冬休み か題③)

□冬休みチャレンジカード *「おうちの方からのコメント」もお願いします。



◆やってみよう！

□読書 …家読カードに、本の名前と読んだ感想を書きます。

□自主学習 …漢字や計算練習、苦手な内容の復習、興味のあることの調べ学習などに取り組めるように励ましの声掛けをお願いします。

□書初め …書初め展の出品希望者は、2枚提出してください。(出品料として50円を添えてください。)

□リコーダーの練習 …今までに習った教科書の曲などを練習しましょう。

□うつのみや元気っ子チャレンジカード 冬休み版 …体力づくりに励みましょう。

冬休み明け登校日

1月8日(水) 8:10登校(5時間授業 給食あり)

《持ち物》お子様と一緒に確認し、用意ができたなら☑をしてみてください。

□水曜日の時間割の用意

□筆記用具

□連絡帳

□連絡袋

□上ばき

□歯みがきセット

□ランチマット

□体育着

□赤白ぼうし

□ぞうきん1まい(記名)

□頭おおい

□ハンカチ、ティッシュ

□なわとび

□白衣(給食当番だった人)

□マスク(給食当番になる人)

□新年のめあてカード

□なわとびカード

□冬休みチャレンジカード

□冬休み中に取り組んだ課題 □うつのみや元気っ子チャレンジカード(やった人)

□書き初め《やった人》(書き初め展に出品する人は、作品2枚と50円を持たせてください。)

※持ち物へ記名をお願いします。



日	月	火	水	木	金	土
			1 元日	2	3	4
5	6	7 冬休み終了	8 全校集会 ロング昼休み	9	10 身体計測 口座振替日 P会員——5,190円 P会員以外—4,810円	11
12	13 成人の日	14	15 登校指導 共遊	16	17 毎週土曜日は、 家読の日です！	18
19	20 ドッジボール大会	21	22 ロング昼休み	23 学校保健給食委員会	24	25
26	27	28	29 かたりいず 授業参観 懇談会 体罰に係る相談期間 (13:00~16:00)	30 クラブ見学 体罰に係る相談期間 (13:00~16:00)	31	



学習予定

国語	俳句に親しもう カミツキガメは悪者か	社会	シリアル工場の仕事 わたしたちの市や生活の 様子のうつりかわり	音楽	パートの役わり めざせ楽器名人
算数	小数 2けたの数のかけ算	体育	保健 毎日の生活と健康 跳び箱運動	図工	うつつてふえるよ でこぼこさん にきび
理科	電気で明かりをつけよう じしゃくのふしぎ			道徳	親切、思いやり 個性の伸長



◇ クラブ見学について

4年生になるとクラブ活動が始まります。どのような活動をするのかを知るために、活動の様子を見学します。クラブ活動は6時間目に行われますので、30日(木)は、下校が **15:30** になります。よろしくお願いいたします。

◇ 人権について考えよう

11月20日(水)~12月6日(金)は、校内人権週間でした。子どもたちは人権に関する標語を作り、校内に掲示していました。道徳の「三つの国」では、国によって文化や考え方が違うことを実感できたようでした。また、子どもたちは、国による違いに興味をもち、日本との共通点や相違点について考えることができました。